

あまいろだより

手づくり市民メディア



vol.45 洗堰レトロカフェ

2021.6.15

▷ 目田川河川公園

守山市守山町 578 付近がおすすめスポット。町中の川なのに生き物がたくさんいます。浅いところが多いので小さな子どもさんにも最適。

▷ 愛知川 奥永源寺

黄和田キャンプ場付近がおすすめスポット。飛び込み岩や流れのある浅瀬、潜れる場所もあります。岩飛びもできて多様に遊べます。



exhibition 『No Rain, No Rainbow 服と器と木版画、暮らしの小物たち』@da-na

小さな展示会を開催いたします(ななこ、ななつ、よしみ)
開催日時 2021年7月2日(金)~5日(月) 11:00~17:00
古民家 da-na (滋賀県蒲生郡日野町中之郷 740)P: 有
3日 da-na 市、4日 投げ銭ライブ 14:00~ Haruya Band Jr.
ヒトユラのおやつ、美味しいごはんやカフェも同時開催。
詳しくはFB イベントページを検索してください。
<https://www.facebook.com/events/322679466028138?ref>

Now ON SALE 何度も洗ってつかえるエコラップ ミツロウラップ 販売中 !!

オーガニックコットンの生地にミツロウ(たまばん@信楽のニホンミツバチのミツロウ、オーガニックミツロウ)とオーガニックココナッツオイルと松ヤニをいい塩梅にブレンドして、あまいろ探偵団が手づくりしています。(監修 Biwabochi ちまり)

▶取扱店 Base For Rest (東近江)、自家製酵母パンひとつぶ(能登川)、NPO 碧いびわ湖(安土)、自然食品と生活用品の店 hana(草津)、cafe あわいさ(信楽)

▶発送ご希望の方は、あまいろだよりFB・インスタにメッセージにてお問い合わせください。(送料別途)

- Sサイズ 13x13cm (半分に切ったリンゴなどに)
- Mサイズ 20x20cm (お皿に残ったおかずなどに)
- Lサイズ 26x26cm (サンドイッチやおにぎりなどに)
- LLサイズ 28x40cm、36x36cm (キャベツ半分などに)



あまいろだより(天色便り)第45号
特集/洗堰レトロカフェ
編集/あまいろ探偵団
(北岡七夏・志賀未来・中野和子・藤井朋子・森優子)
表紙タイトルロゴ/岸田知之
発行日/2021年6月15日
発行/特定非営利活動法人碧いびわ湖
~大切なことを他人まかせにしない。自分たちで力をあわせてつくる~
TEL 0748-46-4551 FAX -46-4550
Eメール info@aoibiwako.org
ブログ <http://aoibiwako.shiga-saku.net/>
びわ湖の森を元気にするkikitoペーパーを使用しています(びわ湖の森の間伐材活用) *kikito



プロフィール

ささき かずゆき
佐々木和之 さん
洗堰レトロカフェ代表。東京都世田谷区生まれ、滋賀県立大学進学に伴い移住。小5から日本野鳥の会の会員。中高時代から、開発する/しないの二択だけではなく、どのように調整したら少しでも野鳥の生息環境が残せるのかを考えるようになった。市民の想いを反映した川づくりに向けた、住民と行政との連携手法を研究。本業は川づくりまちづくりコンサルタント。妻とは死別。心情的には今も妻と二人暮らし。好きな食べ物はとんかつ。

やまもと みほ
山本未歩 さん
立命館大学 食マネジメント学部3年生。洗堰レトロカフェには2020年秋から参加。好きな食べ物はハンバーグ。

くぼた かな
久保田夏菜 さん
立命館大学 食マネジメント学部2年生。洗堰レトロカフェには2020年冬から参加。好きな食べ物はトマト。

洗堰レトロカフェ

旧瀬田川洗堰(南郷洗堰)の保存と利活用を、カフェ(交流の場・思い出づくりの場)という形で実現すると共に、旧洗堰を場として、住民と川との意見・情報が交流する場(カフェ)を設けることを目的として2009年より活動しています。
▷毎月第4土曜日開催。13:00~17:00または日没。悪天中止。
開催情報はtwitterまたはinstagramをご確認ください。
URL <http://retrocafe.info>
twitter @retro_cafe
instagram retrocafe.info

琵琶湖河川レンジャー

2009年3月に策定された淀川水系河川整備計画では、河川レンジャーは「行政と住民との間に介在して、住民が河川に関心を持つような活動に取り組むとともに、個別事業の検討段階における住民意見の聴取や、住民の河川にかかわるニーズの収集を行う」としています。
琵琶湖河川レンジャーは、琵琶湖やその周辺で、住民のみなさんが河川に関心を持てるような取組みをしたり、みなさんの河川へのニーズを収集するなど、住民と住民、住民と行政の連携・協働のコーディネーター(つなぎ役)として活動しています。

あらいせき
洗堰レトロカフェ
歴史ある重厚な佇まいの旧瀬田川南郷洗堰
この場所が月に一度、
レトロな三輪自動車と
テーブルを囲むパラソルで彩られます。
洗堰レトロカフェ
ゆったりとした川の流に、
時間までもがまたゆっくりと流れるこの場所で、
少し足をとめて紅茶でも。



あまいる探偵団(以下あ)以前、洗堰レトロ口カフエにおじゃました時に、泰然と流れる川を眺めながらゆっくりできるともいい場所だなと感じました。まずは、洗堰レトロ口カフエの成り立ちを教えてください。



佐々木和之(以下さ)二〇〇五年に旧瀬田川洗堰の百周年記念イベントがあって、琵琶湖河川事務所がこれからの旧洗堰の保存と利活用を考えていきましようというワークショップをしたんです。僕は院生の時にそれに参加して、旧洗堰って普段は閉鎖されてるけど、もっと普段からさわりたいよねって話が出てきた時に、川の上にカフエがあつてお茶飲めたらいいよねって思ったのがきっかけの一つです。あと、私は研究系の人間なので、洗堰の役割や歴史を講義っぽく喋ることもできるんですけど、多分九十九%の人は興味ないだろうな。それだったらオープンカフェをやって人が立ち寄れる場所を作って、おしゃべりの中で旧洗堰の良さとかを伝える方がいいんじゃないかなと思ったのがスタートです。

「思い出づくり」っていうのをキーワードにしてるんですけど、思い出を持っていく人が存命中で、その場所が語られている間は、その場所は生きてると思うんです。治水とか歴史をつなぐことも大事だけれど、みんなの自分ごとになるには、ここでお茶飲んだとかデートしたとかの思い出があることが大事なんじゃないかなって、私は思ってます。カフエで過ごすことが次の風景になったらいいなって。

あ 佐々木さんの研究内容は？
さ 今は景観工学が専門と言ってますが、もともとは人間行動の研究室にいました。私、生まれたのが東京の世田谷区で、基本的にコンクリートで固められた川を見て育った人間なんです。川に降りるための階段を作るとか、すごい人を馬鹿にしてるって思ってます。だって、例えば子どもが遊ぶ時って、別に階段なくたって突入するじゃないですか。大人もなんとなく降りられる気がするから降りるんですよ。だから、川の風景を作っていく時に、Aっていう目的にしか使えないものを作るとすぐつまらない。それ以外の用途に使えないから、滋賀県立大学の学部生になった時に、犬上川という自然豊かな川が目の前にあるわけですよ。そこで、みんな花見してたり鮎釣りに来てたり、子どもたちにとっては川の中にあるでかい岩がステージになったりだとかするわけじゃないですか。それを見てると、多様な使われ方をしている、

あ まいる探偵団(以下あ)以前、洗堰レトロ口カフエにおじゃました時に、泰然と流れる川を眺めながらゆっくりできるともいい場所だなと感じました。まずは、洗堰レトロ口カフエの成り立ちを教えてください。

が、私はしたんで。人の暮らしに接している川でいうと、そういう方が良いんじゃないかな。ひとつの機能にしか使えないとすぐ川がつまらなくなる。そう思ったことが実現できなかった。そのあと院生を経て、琵琶湖河川事務所が設置した住民と行政との橋渡しをする「河川レンジャー」(前頁参照)の事務局の仕事を二年間することになりました。その後、私も河川レンジャーに申し込んで任命を受け、その活動の一つとして、二〇〇九年に洗堰レトロ口カフエを始めました。

川との思い出、ある？



山本末歩(以下や)やっぱり育ってきた環境って影響されますよね。
さ されます、されます。
あ 子どもの頃の原体験みたいなもの、川との思い出ってありますか？
さ 小学校二年生の時に、担任の先生の家の前の川に入って遊ばせてもらったっていうのが、僕にはすごい原体験なんです。東京の川だし、生き物は全然いなかったんですけどめちゃくちゃ楽しかった。あと、特殊な私立の小学校だったんで、『散歩の時間』っていうコマがありました、
一同 ヘー！素敵！
さ 毎週二コマ続きで色んな所を散歩するんですけど、近くの川を遊んで水源まで歩いて行ったこともあって、そういうのも影響してると思います。
あ 山本さんたちは子どもの頃、川で遊んだこと、ありますか？
や 出身が広島なんですけど、工場見学とか山登ったりとかはしたけど、川で遊んだっていうのはほんとに一回くらいしかない。あとはプール。
久保田夏菜さん(以下く) 私は出身が茨城県の水戸市で、大きな川が二本近くにあるって普通に生活してれば川は見るけど、遊んだって記憶は全くないです。

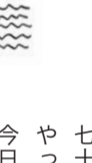
瀬田川洗堰の役割



あ 瀬田川の洗堰にはどういう役割、歴史があるんでしょう？
さ 明治三十八年に旧洗堰はできていたんですけど、要は琵琶湖の水位を調整するためにできた堰です。琵琶湖から出て行く川は瀬田川一本だけだから、そこでせき止めたら琵琶湖の水位が上がるし、開けたら下げることができる。
あ その水位を調整しようとしたきっかけ

は？
さ やっぱ大水害ですよ。明治の大水害、湖岸が数カ月も浸水したことがあったんですよ。そうなるって当然水を早く抜きたい。それから、下流の京都・大阪が水害で苦しんでいる時に、さらに水を流すと大変なことになるので、そういう時には水を止める。もちろん普段は水をためておくことによって京都・大阪の水源地にする。
もう一つは、旧洗堰から上流を見ると右側に大日山があるんですけど、昔はもって瀬田川に向かってせり出してたんですよ。そこで山を掘削した上で洗堰を作り、堰を開け閉めすることで水位を調整できるようにするという大工事が行われました。
あ 今現在も同じような役割をもってるんですか？
さ もちろんそうです。新しい堰になって機能が強化されてます。一九七二年から一九九七年まで琵琶湖総合開発事業がありました。琵琶湖の周りの湖岸道路を取り巻いているけど、あれは実際は堤防なんです。洗堰を閉めたときに水位が上がるので、周辺が浸水しないように作られました。
他には例えば堰の操作方法の改良です。仮に堰やダムを無くしても、昔とは雨の降り方が違うので、必ずしも元の川の流れ方に戻るとは限りません。そこでアメリカのダムには操作方法を変えて、昔の水量と同じような流し方をして生き物を戻すってことをやっているとところもあります。新しい堰でも生き物に配慮した操作方法の改良が行われています。
あ バランスをとりながら。
さ そうです。周りの整備を進めればちゃんと無茶しても氾濫しなくなるから、琵琶湖周りの整備と操作方法の改善とがされてきました。

学生さんをつくる新しい風景



あ 洗堰レトロ口カフエの運営を学生さんたちと一緒にされてるのは立ち上げ当初からですか？
さ そうですね。だって、私は洗堰レトロ口カフエのコンセプトは思いついたけど、細かいところとかは私だけだとアイデアが足りないんで、仲間が要りますよね。この取り組みをやり始める時に一緒にやっていた学生に、やっていたら本当にカフエらしくしないと人

は来ないですよと言われたんです。それでテーブルクロスやエプロンを作ったりして、カフエとしていいものにしましようってスタートしたのを今も覚えてます。
あ 久保田さんはどうやってこの活動を知ったんですか？
く 私は去年入学したので、一年間ほぼほぼ学校に行けなくて、でもなんかしたいなと思っていて、もともと中学生の頃にボランティアを体験したことがあったので、大学に入ったらもっと挑戦したいなって思いをずっと持っていました。学校のボランティアを紹介してくれるオンライン企画に行ってみたら、ここお勧めだよって教えてもらって来てみました。
さ ちょうど彼女が大学に入ったのがコロナ禍でしょ。一番大変だよ。
あ カフエでは具体的にどんなことを？
く 基本的には来てくださった人に飲み物を提供して、たくさんお話をします。佐々木さんが学生の意見をいっぱい採用してくるので、今度十二月にはクリスマスまでの間に合わせてお菓子を作りたいなと思ってます。
さ 僕はここを立ち上げましたけど、今の状態を作り上げたのは彼女たちも含めて歴代のスタッフが、目標に向かって工夫を繰り返した結果です。トレードマークになってる三輪車の色も、投票で決めただんですけど、僕、負けてますからね(笑)。でも自分の意見がひっくり返るから面白いんです。いろんな人が発案するから、どんな場所が楽しくなってくると僕は思ってます。
あ 山本さんは参加していてどんなところが楽しいですか？
あ やっぱ人との出会いですね。普段生活してたら同じ世代の人としかしゃべらないけど、レトロ口カフエの前を散歩してる方って、けっこう六十歳代以降の人が多いの。普段住んでる所は学生がサラリーマンのどっちかなので全然ちがいますし。一度、七十歳前後の滋賀県の色んなところを歩くと、やってくる人たちが、三十人位来てくれて。今日は石山駅から十一km歩いてきた、ボケちゃいけんしね、みたいな。まだ若いんだから頑張りなあって言ってくれて。
あ 世界が広がるね。
や 楽しいですね。人生の先輩だなんて思うので。でも普段は自分のおばあちゃんおじいちゃん以外にしゃべる機会ないじゃないですか。
あ 例えば駅を歩いている人たちと、川を散歩してる人たちでは時間のペースも違うそうですね。来てくれた人に洗堰の話をする

と、どういふ反応がありますか？
さ 滋賀県ご出身の方は割と知ってるんですよ。遠足か何かで来てるのかもしれない。昔の写真を見せてくれる人もいたり。昔はここで飛び込んで遊んだっていう方もいましたね。昔の河川事務所の職員さんがお二人いらしたことももあるんですけど、その方達は自分たちがこを守ってきたって自負がすごいありました。だからぜひ続けてくださいって言ってもらったり。いろんな出会いがあります。
あ 取り組みを始められて丸十二年、新しい風景が生まれてるんですね。
さ 結局、先祖代々二十四時間三六五日、人々がどういふ風に生活してたのか、どういふ時間の使い方をしていたのかっていうことが、今日の前で展開している風景じゃないですか。その時に旧洗堰っていう歴史ある施設があつて、私は場所としてとってもいいところだと思ってるんですよ。川の上でぼーっとしてるのってシンプルにいい時間。そこで少しの時間、過すことのできる場所として、これからも続けていきたいです。
あ 最後、お二人にも一言づつ。
く 今まで私は川に対して思い入れとかあんまり考えたことがなかったんですけど、滋賀県に来て瀬田川でこういう活動をしていて、川を見ながらお茶を飲むっていいなって、そういうことから川に思いを巡らせるきっかけができたらいなって改めて思いました。
や 私、滋賀に来て最初は何もなかったんですけど、洗堰レトロ口カフエにきて、「なんだ！この時間がゆっくり流れている場所は！」って感じて。その時々で来る人が違って、新しい出会いがたくさんあるし。フラッと立ち寄れて、騒がしくなくて何時間でも過ごせるとか素敵だなと、残さねばと思えました。
私 小学校の頃から塾に行ったり勉強強くて感じて来てて、原体験のようなものがなんもないな〜っておもない私って思ってたけど、この間、いろんな出会いの中で感じることは全部新鮮で、「おもない、おもない」からの今はちょっと「おもしろい」です(笑)

てここから、大規模処理場と我が家の個人下水道の違いです。処理した水を再利用しているのです！まずトイレの洗浄水(上水・飲み水でない)、庭の散水、洗車、雑用水に利用。更には地域水(家庭菜園の方々の水)としても活躍。処理した水を再利用しますから、流す水に気配りが必要です。"せっけんで暮らす"がベースゆえ、洗濯は勿論、台所食器洗い、風呂場、トイレの掃除など多くの場面で廃食油リサイクルのマルダイせっけんが大活躍します。塩素系漂白剤などは、御法度。油分も大敵です。時々マンホールの蓋を開けては、水の機嫌はどうか？と様子を見るのも楽しいものです。
一年を通して、浄化槽の"地域水"が大活躍します。菜園用の水タンクに水を満たしておくと、それを使った何人もの野菜づくりの方々から、お礼にと旬の野菜が続々届くのです。「旬産旬消」を絵に描いたよう。合併処理浄化槽さまさまの日々です。

暮らしのコラム

個人下水道(合併処理浄化槽)で快適な暮らし~自前の水循環システム~

ふじい あやこ 藤井 絢子 碧いびわ湖監事

皆さんは、家庭から流した水の行方をご存知でしょうか？琵琶湖を守るため県内には「湖南中部」「湖西」「東北部」「高島」流域下水道と、「大津市単独公共下水道」更には、「農村集落下水道」「コミュニティプラント」等、大きな施設が張り巡らされ、汚水の多くは、この何処かに流入します。トイレから、台所から、洗濯・風呂から流した水が、日々休むことなく、多くのエネルギー

を使って下水処理場に送られ、ここで又多くのエネルギー・薬剤が使用され、処理され琵琶湖・河川に放流されています。自分が流した汚水に責任を感じませんから、化学物質が含まれる生活用品、合成洗剤、家庭薬、油分等が含まれる水を流しても、へいちゃら！

我が家は庭の車庫の下に、個人下水道(合併処理浄化槽)を設置しています。しくみは下水処理場と同じですが、我が家の流した水だけを処理するシステムなので、流した水の行方をきちり見る事が出来ます。流入してきた汚水は、先ず嫌気性バクテリアが処理する貯留槽に、続いて24時間一定の量を次の槽に送り込む流量調整槽、続けて好気性バクテリアが処理する、ばっ気槽(2槽ある)へ。ここまでの処理でマンホールを開けると「あの汚水が、こんなにキレイに！」と分かる水の状態になっています。更に沈殿させ、消毒槽を通り最終の放流槽へ。そし